

埼玉県職員募集広報動画「化学職にインタビューしてみた。」テキスト版 ※ 所属は令和7年3月現在

【冒頭ダイジェスト】0分0秒から0分9秒

- 新たな知見を得ることは大きな成長に繋がると思いますので

- ◇ 自分の仕事がこの自然を守ることに貢献できていると実感します

【埼玉県の化学職を志望した理由】0分13秒から0分47秒

- ◇ 私は、公正中立な立場から、科学分野に携わる仕事がしたいと思い、埼玉県の化学職を志望しました。特に、生まれ育った埼玉県の自然環境を守る仕事に携わりたいと思っていました。
特定の企業利益を追求するのではなく、科学がどのような形で生活に活用されているのか、その結果私たちの生活にどのような利益があり、一方で自然環境にはどのような影響があるのか、という体系を公正中立な立場で捉え、サポートや審査を行いたいと考えて埼玉県を志望しました。

【埼玉県の化学職を志望した理由】0分47秒から1分26秒

- 大学院1年生の時に、寄居町の環境整備センターに施設見学に行ったことがきっかけの一つです。普段私たちが何気なく排出している家庭ごみや業者が排出する産業廃棄物がどのような形で処分され、管理されているかを知り、環境行政に興味を持ちました。また、個人の実績や会社利益を求める民間企業とは異なる公務員のチームになって一つの問題に取り組む

といった業務形態の方が私の性格に適していると考えました。これらの理由から私は埼玉県を志望しました。

【業務内容について】1分26秒から2分07秒

◇ 管轄地域内の大気・水質・土壌の保全に関する法令に基づいて届出審査や事業者指導、苦情通報対応などを行っています。特に川に油が流れてしまった、川に汚染物質が流れて魚が死んでしまったなどの水質事故では、実際に現地に赴き、下流への流出の対策を行い、その原因を調査します。原因者の話を聞くと「故意的ではなく、自身の行動が川に影響を及ぼすものだ」とわからなかった」というケースが多く見られます。

環境を守るために、環境法令を県民の方に理解してもらうことが、環境を守ることに繋がっています。

【業務内容について】2分08秒から2分47秒

○ 廃棄物・残土対策担当として、廃棄物処理についての問い合わせへの対応や産業廃棄物を取り扱う事業者への立入検査、土砂関係の届出書類への対応を主に行っています。立入検査では実際に対象となる事業者を訪問し、法令に基づいた保管がなされているかなどをチェックします。土砂関係の届出書類は、内容について不備がないかなどを確認し、場合によっては現地確認も行います。週に2回程度は立入検査等の外出があり、デスクワークと現場仕事をバランスよく経験できています。

【働く環境について】2分48秒から3分32秒

◇ 私は東部環境管理事務所→大気環境課を経て今の所属に配属になりました。どの所属でも業務の相談がしやすく、また、個々の意向を尊重してもらえる職場だと思います。

仕事をしていると、時には業務の進め方に迷ってしまうこともあります。

環境法令を説明するときや県民の方の理解を得るときなど、相手の事情によって状況が異なるため、仕事の進め方の正解は

一つではありません。そういったときに上司や同僚に親身に相談にのってもらえて、お互い意見を出し合い、サポートし合える体制が整っていると感じます。その中でもどのようにしていきたいか、自分の意見も尊重してもらえる職場だと思います。

【働く環境について】 3分33秒から4分15秒

○ 私はまだ採用されて1年目でわからないことが多いのですが、とても相談しやすく活気のある職場環境だと思っています。行政の仕事内容は、これまでの学生生活で学んだ知識だけでなく、幅広い知識・経験が求められるため、私一人では判断に迷う案件もあり、他の方との相談なしには業務を進めることはできません。気軽に相談できる上司や先輩の方がたくさんいるので、コミュニケーションを楽しみつつ業務を進めることができます。また、業務内容だけでなく一社会人としての悩みや相談ができる点も職場の魅力の一つだと考えています。

【化学職の魅力とやりがい】 4分16秒から4分59秒

◇ 公正中立な立場から、環境を守るという目的意識を持って業務に携われることです。指導や対策の結果、改善した環境や豊かな自然環境に触れたとき「自分の仕事がこの自然を守ることに貢献できている」と実感します。

「環境法令についてよくわからないが、環境によい企業活動をしていきたい」と思っている方は多くいらっしゃいます。そういった相談に対して、「この法令を守ることによってこのような理論で環境を守ることにつながります」などとアドバイスをさせていただき、「よくわかりました、丁寧に説明いただきありがとうございます。」とお声をいただいたときは「ご案内できてよかった」と思い、やりがいにつながっています。

【化学職の魅力とやりがい】 4 分 59 秒から 5 分 46 秒

○ 大学などで学んだ化学の知識を実務に十分に生かせる場所だと思います。化学職の業務内容には有害物質の測定といった化学の専門性が求められる業務と、化学物質に対する県民の不安解消やリスク評価といった、環境行政を進めていくために化学的知識を扱う業務があると考えています。民間企業であれば自分の専門的な知識をより伸ばしていく仕事内容になるかと思いますが、埼玉県の業務では幅広い分野を経験することができることに加え、新たに行政としての視点から物事を見ていくことになります。学生時代にはなかった意外な発見や気づきを得られるのが化学職の魅力であり、やりがいだと思います。

【業務で意識していること】 5 分 47 秒から 6 分 30 秒

◇ 複雑な環境法令を理解していただくために、県民の方それぞれの立場を理解した上で、わかりやすいように説明することを心がけています。環境法令をよく知らない方には、法令の目的などを交えながら、なるべく理解していただいた上で法定手続きをご案内するように心がけています。ご案内させていただいた方に、環境法令への関心を持っていただけるような説明を心がけています。

また、県ではウェアラブル端末を使用した調査の導入など、DX の推進に伴う最新技術を取り入れています。そういった最新技術の習得に積極的に励み、スキルアップすることを意識しています。

【業務で意識していること】 6 分 31 秒から 6 分 59 秒

○ コミュニケーションを大切にすることです。上司への業務内容の報告、問い合わせ対応など何かしらの形で情報伝達を行う場面が多々あります。相手方がどのようなことを伝えたいのか、上司はどの情報を欲しているのかといったことを判断することは業務を行うにあたってとても重要なことです。会話力向上のため、日々の挨拶や不明点への質問を積極的

に行うよう心がけています。

【どんな人材になりたいか】 7 分 00 秒から 7 分 31 秒

◇ 環境法令の仕組みをよく理解し、広く発信していける人材になりたいです。また、もっと広い視野で社会構造を捉え、自然環境の改善に向けてできる取り組みを自分で考えて実行できる人材になりたいです。具体的には、企業と連携して自然環境を守る施策や事業をつくるような仕事に、機会があれば携わりたいと思っています。そのために、化学の分野だけでなく、幅広い情報収集ができるよう努めていきたいと思っています。

【どんな人材になりたいか】 7 分 32 秒から 8 分 15 秒

○ 埼玉県化学職には産業廃棄物業務以外にも、脱炭素社会の推進や再生可能エネルギー普及拡大、資源循環の推進といった様々な職場での仕事があります。どれも経験してみたい興味がある仕事なので、様々な職場で化学職としての経験を積んでいきたいです。併せて、県がどのような課題に直面しているかを把握し、多角的なアプローチができるような職員になりたいと考えています。また、埼玉県では DX を推進しております。

例えばドローンを活用した調査も導入しています。そういった最新技術を使いこなせるような職員にもなっていきたいです。

【埼玉県を目指す方へ】 8 分 16 秒から 8 分 52 秒

◇ 埼玉県は、街と自然環境が密接に関わり合い、調和している地域です。だからこそ、互いに影響を受けやすい地域だと思っています。埼玉県の環境が好きな方や興味がある方は、環境を保全する目的をもって業務に取り組めると思います。また、化学職は職員同士の繋がりも強く、他の職場の人との交流も多いです。業務の疑問点などを相談し、互いにスキルを高めていける環境だと思っています。この動画を見ている皆さんと一緒に働けることを心待ちにしております。

【埼玉県職員を目指す方へ】 8 分 53 秒から 9 分 27 秒

○ 化学職と言っても様々な業務内容があります。学生時代の専門分野と違う業務内容がたくさんあり、分からないことも多々あると思います。しかし、裏を返せば幅広い知識を得られる場所であり、相談しやすい体制が整っていて安心して働くことができます。様々な課題に取り組み、新たな知見を得ることは大きな成長に繋がると思いますので、化学職職員として、皆さんと一緒に働けることを心待ちにしております。